

執筆者紹介（掲載順）

- 執筆者 ①所属と職位、②専門分野、③主な担当科目、
④教育・研究業績、地域貢献などの紹介
- 林 千賀 ①国際人文学部 教授
②中間言語語用論、日本語教育
③日本語教育実習、異文化間コミュニケーション論、日本語教授法、日本語教育研究（意味論・語用論）
④共著（2019）『新・はじめての日本語教育 基本用語辞典 日本語教育能力検定試験対策』アスク出版、共著（2020）『おもてなしの日本語』アスク出版、共著（2023）『ホテルの日本語』アスク出版、地域貢献として山武市外国人児童生徒に対する日本語教育支援
- 岩田 聖子 ①大阪医科薬科大学薬学部 非常勤講師
②TESOL（英語教授法）、ESP（特定の目的のための英語）、CALL（コンピュータ支援学習）、英語教育一般、地域社会
③スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、観光英語、英語科教育法、薬学英語
④共著（2021）『地域創造の国際戦略』学芸出版社
- 三島武之介 ①国際人文学部国際交流学科 准教授
②国際関係学、政治学、史学（アメリカ）
③国際関係論、政治学入門、アメリカ対外関係論、アメリカの歴史、日本と北米など
④「二つの『一つの世界』—ローズヴェルトの『平和連盟』とウィルソンの国際連盟」『国際政治』213号（2024年3月）、96-111頁（単著）；中野耕太郎・小野沢透・藤岡真樹編『アメリカが創る世界、世界が創るアメリカ—新しいアメリカ史叙述を求めて』昭和堂、2025年発行予定（共著）；専修大学経済学部兼任講師（2024年度）、朝日カルチャーセンター千葉教室講師（2024年1月～3月）。

- 亀井みどり ①国際人文学部国際文化学科 助教
②韓国語学（語彙論）
③韓国語コミュニケーション（書く・読む）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日韓翻訳技法Ⅰ・Ⅱ、韓国語プロジェクトB、国際文化演習（日韓の言語と文化）
④「韓国語感情形容詞「속상하다」の使用様相についての考察」（『城西国際大学紀要』第29巻第2号、2021年）、共著『オンライン国際交流と協働学習—多文化共生のために—』第6章オンライン交流学習における「協働」のあり方の模索—ある日韓混合グループに生じた非協働性の問題に着目して—（くろしお出版、2022年）など。
- 吉田 朋彦 ①国際人文学部国際交流学科 教授
②言語学、日本語の意味研究、指示詞とその研究史
③言語学概論、言語学、日本文化研究（言語）A・Bほか
④「研究史としての「こそあど」—佐久間鼎のリズム研究から指示詞論まで—」（上野善道（監修）『日本語研究の12章』、明治書院 2010年）、「W. G. アストンの『日本口語文典』における名詞と代名詞—『日本口語小文典』第3版と『日本文語文典』との比較から—」（『城西国際大学紀要』第32巻第2号）など
- 瀧 章次 ①青山学院大学 非常勤講師（「キリスト教政治倫理」、「キリスト教生命倫理」、「世界の諸宗教」）、国際基督教大学 非常勤講師（「西洋古典文学」）、無教会研修所聖書学習講座 講師（「ギリシア古典文学と聖書」）
②西洋古典学
③倫理学概論、根拠への問い—哲学への扉、文学のはじまり—古代ギリシア・ローマの文学、美学芸術学
④ 'Hypotheses on the Direct Textual Transmission of Plato's *Protagoras*', 『城西国際大学紀要』27 (2024) 43-56 ; 「日本の公的「人権教育」が抱える問題—「人間の権利 (human rights)」に内含される「人間」理解を再構成する必要性」『JIU 教職年報』7 (2024) 5-21。

- 王 岩
- ①国際人文学部国際文化学科 准教授
 - ②比較文化、通訳翻訳学
 - ③通訳の理論と方法、日中通訳（会議・ビジネス）、日中通訳（観光・コミュニティ）、日中通訳技法、中国語Ⅰ～Ⅳ
 - ④「日本の大学・大学院における日中通訳者の養成に関する一考察」（城西国際大学紀要 第31巻第2号 2023年）、「『徒然草』における第三十九段－第四十一段の連想契機に関する考察」（『東北亜外国語研究』第3期、2019年）、『原典・日本文化論』東北大学出版社、2016年（共訳）、『原典・日本文化論』北京大学出版社、2014年（分担執筆）、「『徒然草』における説話的世界の探索―顕基説話の受容と中心として」（『城西国際大学日本研究センター紀要』第7号、2012年）、『上級日本語精読編（一）』北京大学出版社、2011年（共編）、『上級日本語精読編（二）』北京大学出版社、2011年（共編）

- 吉城寺尚子
- ①国際人文学部国際交流学科 教授
 - ②西洋美術史、表象文化研究
 - ③西洋美術
 - ④〔分担執筆〕鹿島徹ほか（編著）『ドイツ哲学入門』ミネルヴァ書房、2024年

- 塩出 浩和
- ①国際人文学部国際文化学科 教授
 - ②華南地域研究・中国近現代史
 - ③エリアスタディーズ、アジア史、文化交流史
 - ④ローマカトリックメリノール会が母体のNGOであるCenter for the Progress of Peoples（在香港）にて、研究員として勤務。日本企業の対東南アジア直接投資に関わる技術移転・環境問題・労務問題について調査。同会クアラルンプール事務所長。Research Fellow, Institute for Asian Development, International University of Japanを経て、城西国際大学留学生別科に奉職。